

-Archive-

北九州市の人新世年表

中尾賢輔¹

¹ 北九州市立大学 大学院国際環境工学研究科

Chronological table of Kitakyushu region in Anthropocene

Kensuke Nakao¹

¹ Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu, Kitakyushu, Japan
(k-nakao@kitakyu.ac.jp)

Keywords: Anthropocene, Kitakyushu, industrial revolution, OECD Green Growth Model Cities

背景

これまでに「人新世研究会 (Anthropocene Research Club, ARC)」において「人新世」の起源および人新世にともなう人口、環境、エネルギー等の諸問題に対する議論を繰り広げてきた (Kawano, 2019)。上記の研究活動の中から、アジアでの人新世の始まりを北九州市における八幡製鉄所の設立に代表される明治の産業革命とする議論がなされている (Nakao and Kawano, 2019)。

本資料は、である 1901 年からの北九州市および周辺地域の人口、環境、エネルギー等の諸問題に関連する事項を年表にまとめたものである。本年表は日仏科学史資料センター紀要に掲載された人新世における世界的な発展的拡大期に対応する時期における北九州市の人口の推移を数学的に議論した論文 (Nakao and Kawano, 2019) を執筆するために参照資料として作成したものであり、この年表から産業革命以降の北九州の重工業化、そしてその依存体系から積極的なエコアクションなどの環境への取り組みなどが読み取ることができる。

Nakao, K. (2020) Chronological table of Kitakyushu region in Anthropocene. Bull. Cent. Fran. Jpn. Hist. Sci. 14(2): 21-24. (Received: Sep.-Oc., 2019)

アジアでの人新世の始まりは、アジア地域で初めての国営の製鋼施設である八幡製鋼所が北九州市に設立された1901年にさかのぼることができるので(Nakaoら,2019)1901年を始まりとして年表を作製した。以下に年表を示す(表1)。

北九州市の人新世年表

表1. 八幡製鉄所東田第一高炉の稼働以降の北九州地域および北九州市における出来事(環境、産業、人口関連の事項を中心に)

年代	主な出来事
1901	○八幡製鉄所設立
1927	○小倉市が足立村を合併
1928	○大谷スタジアム開場
1929	○門司市が東郷村を合併 ○戸畑産業博覧会開催
1931	○小倉競馬場移転 ○香月村が町制施行して香月町へ ○若松市が島郷村を合併。
1932	○到津遊園地の開園
1933	○小倉陸軍陸軍造兵廠設立
1934	○官営製鉄所が中心となり民間業者と合同して日本製鐵(日鉄)が発足 ○第一回門司港まつり ○曾根村が町制施行して曾根町へ
1936	○井筒屋開店
1937	○八幡市が上津役村を合併 ○小倉市が企救町を合併
1938	○火野葦平が第6回芥川賞受賞
1940	○関門港設置
1941	○小倉市が中谷村・西谷村を合併
1942	○九州電気軌道が小倉電気軌道を合併 ○門司市が松ヶ江村を合併 ○小倉市が曾根町を合併。○九州電気軌道が西日本鉄道に改称 ○関門トンネル開通
1944	○北九州全域に初めての空襲 ○八幡市が折尾町を合併
1945	○米軍が小倉に進駐
1947	○小倉中学校が全国中等学校野球大会で初優勝
1948	○第3回国民体育大会が福岡県で開催 ○小倉市が東谷村を合併 ○小倉競輪場開設
1949	○昭和天皇九州巡幸開始 ○小倉市の一部が椿市村に編入
1950	○門司競輪場開設 ○北九州市立大学が創立
1951	○魚町商店街に日本初のアーケード完成 ○メモリアルクロス建立
1952	○若松競艇場開設 ○九州一周駅伝競走大会初開催

表 1 (続き)

1953	○松本清張が第 28 回芥川賞受賞 ○北九州大水害発生 ○住友金属工業が小倉製鋼を合併
1954	○八幡市が小倉市の一部を編入
1955	○八幡市が香月町・木屋瀬町を合併
1956	○玄海国定公園指定
1957	○高炉大公園竣工 ○帆柱ケーブル開業
1958	○小倉駅が移転 ○関門国道トンネル開通 ○世界産業貿易大博覧会開催 ○世界平和パゴダ建立
1959	○小倉城天守閣再建 ○小倉祇園太鼓像建立
1960	○伸びいく北九州「小倉大博覧会」開催
1962	○若戸大橋開通 ○若戸大橋開通記念「産業・観光と宇宙大博覧会」開催
1963	○門司市・小倉市・若松市・八幡市・戸畑市が対等合併し北九州市発足 ○北九州が政令指定都市になる
1964	○国鉄関門連絡船廃止
1965	○小倉炭鉱閉山 ○第一回市民音楽祭開催 ○戸畑岩田屋開店
1966	○国道 3 号戸畑バイパス開通
1968	○カネミ油症事件
1970	○八幡製鐵と富士製鐵が合併し新日本製鐵発足 ○山田弾薬庫閉鎖
1972	○北九州市役所新庁舎開庁
1973	○小倉空港が北九州空港と改称 ○勤労者会館・レインボープラザ会館 ○関門橋開通
1974	○総合体育館開館 ○行政区再編成、7 区制スタート
1975	○山陽新幹線全線開通 ○新関門トンネル開通 ○中央図書館開館 ○北九州市中央卸売市場開設
1977	○公害で城山小学校閉校 ○西日本総合展示場開場
1979	○黒崎そごう開店
1980	○戸畑祇園大山笠行事が国の重要無形民俗文化財に指定
1984	○九州自動車道門司 IC～小倉東 IC 開通
1985	○北九州モノレール開業 ○第 1 回まつり起業祭八幡開催
1987	○若戸大橋の歩道廃止
1988	○九州自動車道の福岡県内路線が完成 ○第 1 回わっしょい百万夏まつり開催 ○JR 門司港駅が国の重要文化財に指定 ○北九州市ルネッサンス構想策定
1989	○国際東アジア研究センター開設

表 1 (続き)

2000	○情報化先進都市を目指して「地域情報化計画」策定 ○市が「ISO14001」(環境管理の国際規格)の認証取得 ○世界43の国・地域の環境大臣などが地球環境問題について話し合った「アジア・太平洋環境大臣会議 in 北九州」開催
2001	○北九州博覧祭 2001 が八幡区東田で開催 ○北九州自然史・歴史博物館の建物が竣工 ○北九州市立大学国際環境工学部が若松区学研都市に設立
2002	○北九州自然史・歴史博物館オープン ○北九州市エコタウンセンター開所 ○様々なエコタウン事業の開始
2011	○OECD からグリーン成長に関する世界のモデル都市に選定 ○環境未来都市、国際戦略総合特区に選定
2015	○「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録決定
2016	○北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画策定
2017	○シンポジウム「わが国のSDGs達成に向けた地域の取り組み」開催
2018	○OECDの「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定
2019	○OECD主催「第一回SDGs達成に向けた都市・地域の円卓会議」への参加
2020	○「東アジア文化都市」国内都市に選定
2021	○北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs が八幡東区で開催
2022	○北九州市新科学館オープン

※北九州市の Web ページ (<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>) より

引用文献

- Katayama, K. (2014) Populational changes in Kitakyushu. *Higashi Asia He No Shiten* 25(1): 49-57.
- Kawano, T. (2019) Anthropocene is the epoch in which we handle our future. *Bull. Cent. Fran. Jpn. Hist. Sci.* 13(1): 1-18.
- Kitakyushu city's Official website (<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/english/index.html>). Retrieved on 22nd, June 2021.
- Koyama, S. (2012) Kitakyushu shi no Urban Eco-Tourism UET ni kansuru oboegaki. *Institute Journal of Social Science and the Humanities (Shakai Bunka Kenkyujo kiyo)* 70: 93-104.
- Nakao, K. and Kawano, T. (2019) History of Kitakyushu along with the great divergence in Anthropocene: An implication for possible periodization. *Bull. Cent. Fran. Jpn. Hist. Sci.* 13(1): 37-49.